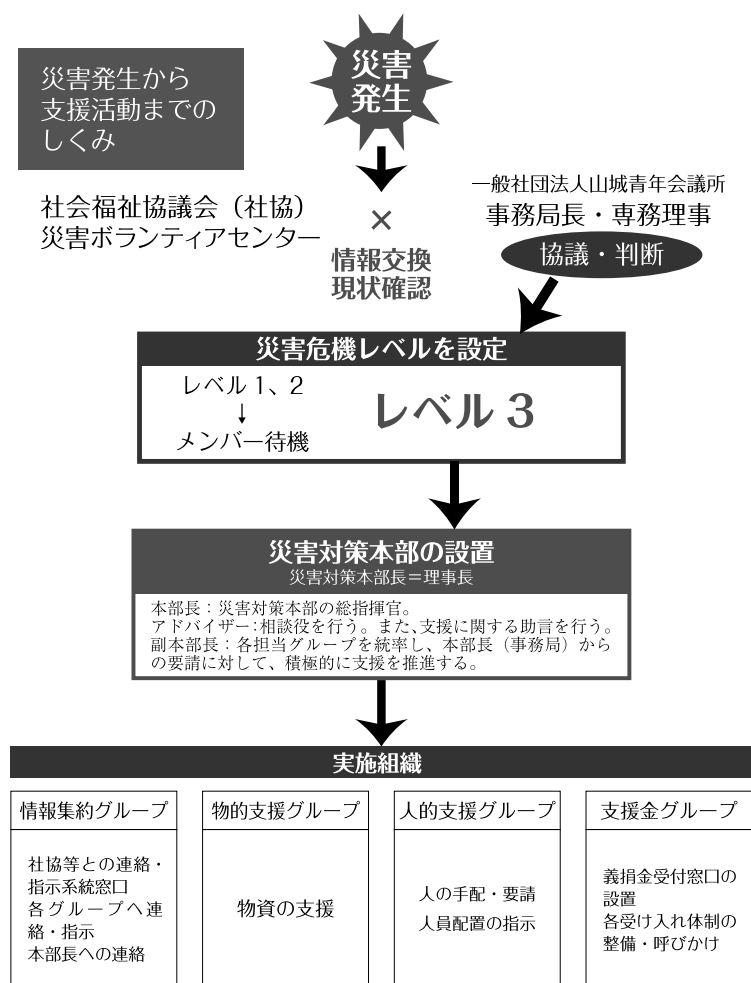


災害時運営マニュアルの必要性

近年、東日本大震災をはじめ地震や水害などの自然災害が多く発生し、山城地域でも水害などの災害が起これ被害がでております。その中で被災された方への支援活動がうまく機能せず、やむなく命を落とされた方も少なくはありません。そんな中、例えば東日本大震災では、青年会議所が自主的に災害支援を行い大きな役割を果たしました。

多くの自然に囲まれた山城地域は、自然災害も起これやすく、万一自然災害が発生した場合に、地域の住民の方たちを被害から少しでも守れるような仕組みづくりが必要だと考え、災害時に青年会議所が実働部隊となって動ける防災対策マニュアルを作成しました。



Step1. 災害発生！

災害危機レベルの設定

社会福祉協議会等との連絡 / 事務局長・専務理事による防災レベルの設定

山城地域内で災害が発生する可能性のある警報・速報等が流れた場合は事務局長らにより災害の危険度などを考慮し、危機レベルが設定されます。危機レベルが3となり、いよいよ支援活動が必要となった場合には災害対策本部が立ち上がり、メンバーはそれぞれの役割を果たすことになります。

メンバー間のやりとりは、グループウェアを使用します

災害危機レベル

危機レベル	体制区分	対応体制	担当者名
レベル1	注意	情報収集に重点を置き、その推移を見極める	事務局長
レベル2	警戒	危機事象が発生する可能性が高まっていることから、警戒態勢を図り、必要に応じて災害対策本部を設置	事務局長・専務
レベル3	非常	災害対策本部を設置し、L O M 全体で応急対策を図る	L O M 全体

Step2. 災害対策本部が立ち上がったら

安否確認・自分の役割

●まずはメンバーの安否確認！

危機レベル3が設定され山城 JC 災害対策本部が立ち上がったら、まず安否の確認をします。情報集約グループ（責任者：専務理事）の指示に従い、掲示板を利用して委員会ごとに安否の確認をしましょう。

●自分自身の役割を認識しよう！

山城 JC 災害対策本部組織図で自分の役割を確認し、書き込んでおきましょう。



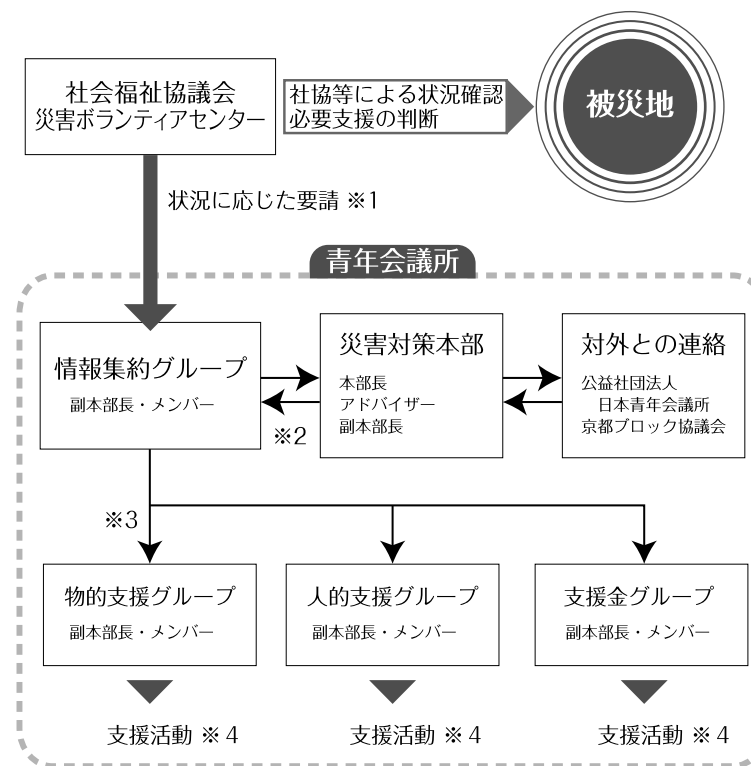
私の所属するグループは

【 】グループです。

Step3. 支援の流れ

支援活動のしくみを把握する

迅速な支援活動のために



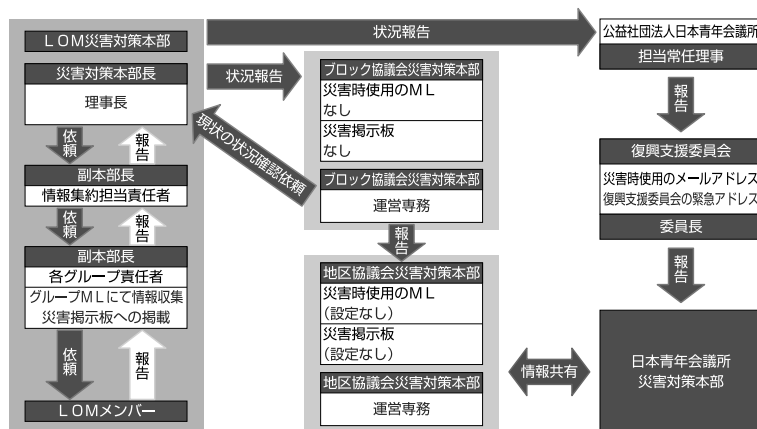
※1 情報集約グループは被災地の社会福祉協議会と連絡を取り、災害の状況・支援内容の確認をします。状況は刻一刻と変わりますのでこまめな連絡を心がけます。

※2 社協から支援要請があった場合には情報集約グループは本部に報告をし、本部は支援活動の指示を情報集約グループに返します。

※3 情報集約グループは本部からの指示を支援を担当する各グループに伝えます。

※4 各グループは副本部長の指示に従い支援活動を実行します。

災害時の連絡指示系統フロー



情報集約グループ（専務理事・事務局長・総務広報委員会）

各グループと、連携する団体（社会福祉協議会・災害ボランティアセンター）との情報共有をします。

- 社協等からどのような支援が要請されているのか、情報を集めます。
- 各グループにおいて支援の内容を伝達し、進捗を管理します。
- ◇ 各地社会福祉協議会と連携しよう

他団体			
被災地	社協	名称	連絡先
	京田辺市 社会福祉協議会	TEL : 0774-62-2222（代表）	MAIL : shakyo-kyotanabe@ceres.ocn.ne.jp
		担当者	西川 登 事務局長
	社協	名称	連絡先
	木津川市 社会福祉協議会	TEL : 0774-71-9559（本所）	MAIL : kizugawashakyo@friend.ocn.ne.jp
		担当者	渡 かのる 事務局長
	社協	名称	連絡先
	井手町 社会福祉協議会	TEL : 0774-82-3499	MAIL : gyokusen@atlas.tela.or.jp
		担当者	池田 清 陸 事務局長
LOMの担当	社協	名称	連絡先
	精華町 災害ボランティアセンター	TEL : 0774-94-4573	MAIL : seikachiki@cup.ocn.ne.jp
		担当者	杉山 典 寿 センター長
	社協	名称	連絡先
	和束町 社会福祉協議会	TEL : 0774-78-3312	MAIL : wazukashakyo@nirus.ocn.ne.jp
		担当者	山下 貴 志 事務局長
	社協	名称	連絡先
	笠置町 社会福祉協議会	TEL : 0743-95-2750	MAIL : kasagi@shakyo@ec5.technowave.ne.jp
		担当者	松本 佳恵子 事務局長
社協	南山城村 社会福祉協議会	TEL : 0743-93-1201	MAIL : mura-shakyo@myv.ne.jp
		担当者	末 廣 睦 事務局長

物的支援グループ（地域連携向上委員会）

要請された支援物資の調達と、送られてきた物資の整理等を行います。

- ストックAID を必要に応じて、本部へ要請。また、各被災地に運搬します。
- 地域と連携して支援物資の管理の手助けをします。
- 現役並びに特別会員に対して物的支援の要請を行います。



ストックAID を注文しよう

日本青年会議所復興支援委員会の HP から購入ができます。皆さんも自宅や会社に備え付けておきましょう。

注文はこちら→ <http://jc-aid.org/>
注文したら、掲示板に書き込みましょう！

人的支援グループ（夢を描ける青少年育成委員会）

本部からの要請によって支援いただける方を管理し、被災地の状況に応じて派遣します。

- 被災地が求めている人材の把握。（情報集約 G と協働）
- 各地 JC からの応援体制の確立。支援の要請を行います。

支援金グループ（地域活性プロデューサー育成委員会）

被災地への義捐金を集めるため、口座を開設し、メンバー、特別会員、各地青年会議所へ通知しよう。⇒本部と連動。

- 街頭での募金活動や募金箱の設置のお願い。
- 集まった義捐金は本部を通じて被災地の社協に送ります。

そ
な
え
る

万一のために
日頃から備える



水	水は1人1日3リットル必要です。家族の数などに合わせて多めに用意しておきましょう。
食料	食料は保存のできるもの（レトルトのごはんやアルファ米、缶詰やびん詰めのおかずなど）を最低3日分用意しておきましょう。
火	火が使えないことがありますので、卓上こんろや固形燃料を用意しましょう。
電気	電気が使えないことがありますので、懐中電灯を一人1個用意しましょう。
情報	正しい情報を聞くためにラジオを用意しましょう。 その他、貴重品、救急医薬品、下着、雨具などを持ち出し袋に用意し、目のつく場所に置いておきましょう。
心構え	万一の際、すぐに行動に移せるように強い覚悟と心構えをこのマニュアルとともに携えておきましょう。

最後に・・・

近年のゲリラ豪雨等の異常気象、非常に高い確率で起こるといわれている地震災害等、自然災害の恐怖は私たちにとって大変身近な脅威となっています。山城青年会議所は地域の発展に貢献するまちづくりの団体として、有事の際には被害を最小限に食い止め、速やかに復興への一歩を踏み出せるよう率先して行動をしなければいけません。8つの市町村からなるこの山城地域において、全国にネットワークをもつ青年会議所だからこそ行える支援活動があります。青年会議所が果たすべき役割を常に自覚し、行動に移すことができるように強い覚悟と心構えをこのマニュアルとともに携えておきましょう。

名 簿 編

名
簿
編